

国土交通省四国地方整備局

高松港湾空港技術調査事務所

【連絡先】 〒760-0064 高松市朝日新町1番30号(高松港湾合同庁舎3階)
TEL. 087-811-5660

全国の港湾空港技術調査事務所(以下「技調」)を訪ね歩くシリーズ企画「技調探訪」。第3回は、高松技調の新名所長にお話を伺いました。



【お話】
高松港湾空港技術
調査事務所 所長
新名 薫さん

Q1 高松港湾空港技術調査事務所(以下「高松技調」)とは?

今年度、高松技調の基本理念として、「技術力」と「連携・共働」により安全・安心・豊かな四国づくりに貢献すること、を掲げています。この理念を達成するための基本方針は、①「働きやすい“技調”」、②「人材を共育する“技調”」、③「地域から頼られる“技調”」の3つです。

①の「働きやすい技調」とは、業務の効率化を推進することで職員が生き生きと働ける環境、また、心身ともに健全に働ける風通しの良い職場環境です。

②の「人材を共育する技調」とは、従来の「年長者」から「若手職員」へとという一方的な教育だけではなく、実際には、私たち年長者は新しい技術、特にICT技術やデジタルデバイスの扱い方等多くのことを、「若手職員」から教わっています。このような双方向の技術・知識の伝承や相互の研鑽であるべきだと考えて共育と表現しています。

③の「地域から頼られる技調」とは、まずは直轄の事務所との連携・共働を強化すること、更には港湾管理者や大学ともしっかり連携・共働し、地域から必要とされる組織になることです。

Q2 高松技調の特色は?

かつての神戸機械整備事務所と神戸調査設計事務所の2つが、平成13年の省庁再編により、神戸技調、広島技調、高松技調の3つに再編され、高松技調は、静穏な瀬戸内海と高波浪となる太平洋の大きく異なる2つの海域を管轄することになりました。

職員数は全国の技調でも最小規模(15名)の事務所であり、特筆すべき施設も設備も有していませんが、少人数に

なった分、職員一人一人がその技術と能力を遺憾なく発揮させる「一騎当千」「少数精鋭」の気概を持った人材が唯一の財産ともいえます。

Q3 職場の雰囲気は?

事務所自体は、令和元年度に高松市の中心部から現在の高松港湾合同庁舎に移ってきました。執務室の窓からは瀬戸内独特の風光明媚な多島美を背景として、港を行き交う各種船舶(海保・消防関係からコンテナ船や定期フェ



活気ある高松港(職員撮影)



高松技調職員一同

リーまで)を眼下に、潮の香りや忙しく稼働するストラドルキャリアのエンジン音など、高松港の活気を実感できる場所だといえます。

そんな周辺環境ですが、職員それぞれが生き活きと働くことができ、たとえネガティブな情報でも何でも早めに相談ができる、そんな風通しの良い職場だと思っています。

Q4 高松技調の近年の実績・成果は？

今後40年以内に90%程度の確率で発生が予測されている南海トラフ巨大地震への対応が高松技調として喫緊の課題となっています。

貴センターには「管内技術課題検討業務」を受託していただいております。四国管内の各事務所からの技術的な検討要請についても、臨機にかつ柔軟に相談にのって頂いております。

昨年度はその業務の中で「南海トラフ巨大地震等の被災後の施設の応急復旧に関する検討」を実施して頂きました。

地震後の港湾施設の変形状況についての実績・事例(阪神大震災や東日本大震災等)を収集し、例えば、重力式の岸壁であれば何メートルぐらいはらみ出しすると船舶が着岸・係留できなくなるか、という具体的な数字を示すことによって、地震発生後の施設点検の際にその施設が使えるかどうか、の判断が出来るようになり、管内主要港湾での迅速な応急復旧対応が可能になったと確信しています。

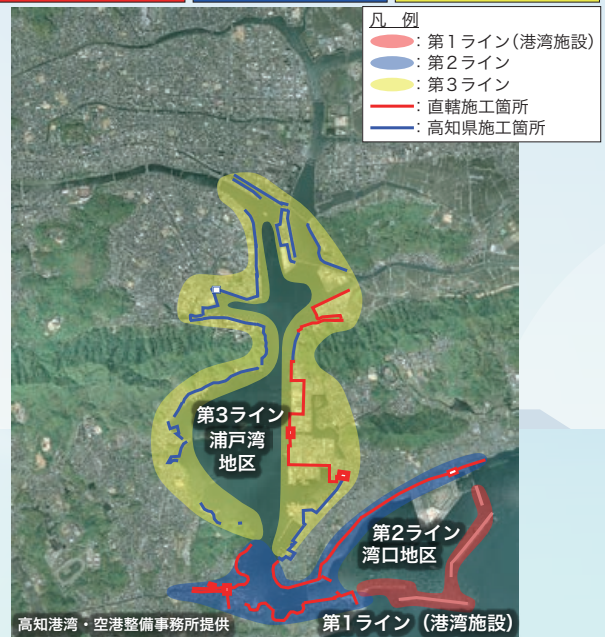
Q5 高松技調の現在の取り組み、今後の抱負は？

南海トラフ巨大地震への対応として、現在、高知港湾・空港整備事務所で取り組んでいる高知港海岸直轄海岸保全施設整備事業を「三重防護」の方針により進めています。これは港湾の防波堤による第1ライン、海岸保全施設による外縁部堤防等の第2ライン、浦戸湾内の護岸等による第3ライン、の3つの防護ラインにより高知の市街地を巨大地震・津波から防護するものです。現在は国と高知県が一体となって整備を進めており、高松技調としても多くの設計業務を担当しています。このほか、徳島小松島港、須崎港、宿毛湾港における防波堤の「粘り強い化」の断面検討なども実施しています。

また、新技術に関する相談、活用の促進も行っているほか、職員のスキルアップのための技術説明会も実施しています。

今後の抱負としては、次世代への技術の継承、特に設計

【第1ライン】 第一線防波堤(港湾施設) 【効果】 ・津波エネルギーの減衰 ・高知新港の港湾機能の確保	【第2ライン】 湾口地区 津波防波堤、外縁部堤防等 【効果】 ・津波の侵入や北上の防止・低減	【第3ライン】 浦戸湾地区 内部護岸等 【効果】 ・護岸の倒壊や背後地浸水の防止等
-------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------

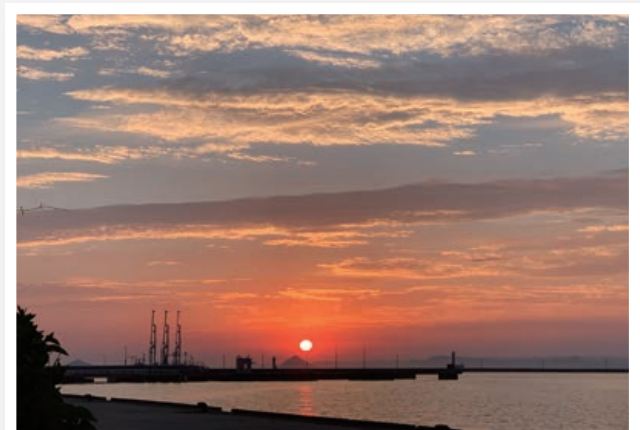
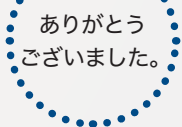


高知港海岸における「三重防護」イメージ

に関する技術力を着実に引き継ぐこと、そしてこれらを通じて「地域から頼られる「技調」」を目指していきたいと考えています。

Q6 当センターへのご意見等ございましたら

貴センターに期待したいのは、四国以外の全国で実施している技術的な検討などの事例や情報を紹介していただきたいということです。例えば「四国でも取り組んでみてはどうか」という事例があれば、共有していただければと思います。



職場からみた夕景(職員撮影)